

第18回スポーツ健康交流大会

開催要項

- 1 目的 京都府内の自治体職員等が、スポーツ・健康運動に親しむことにより、健康の維持・増進と元気回復、自治体職員間の交流とコミュニケーションの充実、職場の士気高揚と活性化・円滑化をはかるとともに、開催地住民をはじめ府民に参加を呼びかけ、もって地域住民及び府民の健康・スポーツ振興に寄与することを目的とする。
- 2 主催 一般財団法人京都府市町村職員厚生会及び趣旨に賛同する市町村等団体（以下「所属所」という。なお、各所属所は「厚生計画」に基づく共同事業として実施する。）
- 3 後援 京都府 京都府教育委員会 京丹波町 京丹波町教育委員会
- 4 事務局 一般財団法人京都府市町村職員厚生会
- 5 開催日 令和4年9月17日（土）
- 6 会場 京都府立丹波自然運動公園およびグリーンランドみずほ
- 7 種目
- (1) 午前の種目
- ①ソフトボール ②ソフトバレーボール ③卓球
④バドミントン ⑤グラウンドゴルフ ⑥ミニサッカー
⑦ミニ駅伝※ ⑧テニス ⑨ドッジビー
⑩退職会員グラウンドゴルフ
- (2) 午後の種目
- ①満水リレー※ ②ボール送り競争※ ③MIXリレー※
④リレー※
- (3) 健康促進企画
健康測定会※
- (4) 体験教室
ノルディックウォーキング※
- ※印は大会会長が指定する府民参加種目
- 8 日程 概ね次のとおりとする。
- | | |
|---------------|---------------|
| 役員集合（各会場） | 8時00分 |
| 選手集合（各会場） | 8時45分 |
| 代表者会議（各会場） | 9時00分 |
| 午前の種目（各会場） | 9時15分～13時00分 |
| 体験教室（陸上競技場） | 10時00分～12時00分 |
| 健康促進企画（陸上競技場） | 10時00分～13時30分 |
| 午後の種目（陸上競技場） | 13時15分～15時00分 |
| 表彰式（陸上競技場） | 15時15分～15時30分 |
| 解散 | 15時30分 |

- 9 参加対象 ①会員（大会会長が定める特別分担金を納入した会計年度任用職員等（この大会においては、「特例会員」という。）を含む。）とその家族
②大会会長が指定した種目については、退職会員と主旨に賛同する府民
- 10 申込み 運営要項「1 申込み」および府民参加種目取扱要項「2 申込み」に定める。
- 11 運営 実施委員会で運営する。
- 12 救護員 外部に委託する。
- 13 昼食 参加者が用意することとする。なお、参加所属所においては、依頼により斡旋も行う。
- 14 組合せ 大会事務局の抽選により決定する。
- 15 表彰 運営要項「4 表彰」に定める。
- 16 雨天の場合 中止する。
- 17 準備日程 第1回実施委員会 6月24日（金）
第2回実施委員会 8月31日（水）
- 18 感染防止対策 新型コロナウイルスにかかる感染防止対策は別に定める。
- 19 その他 準備・運営に関する事項は、この開催要項に沿って主催団体が定める。

新型コロナウイルスにかかる感染予防対策について

【参加者にお願ひすること】

参加者に対しては案内通知に記載する等して、次の点の徹底をお願ひする

- ①以下に該当する場合、参加を見合わせること
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②会場へはマスクを持参し、スポーツをしていない間は着用すること
- ③こまめな手洗いやアルコール消毒剤による手指消毒を行うこと
- ④入場にあたり、検温等の体調確認に協力すること
- ⑤会場内での大きな声での声援、会話は行わないこと
- ⑥他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること
- ⑦参加にあたっては直行・直帰し、自家用車等の乗り合わせで会場に向かう場合は、車内で密にならないよう配慮すること

【主催者として徹底すること】

運営にあたっては、主催者として次の点を徹底する

（運営者自身の対策）

- 1 運営にあたる者は、検温等による体調管理、マスクの着用、手洗い等による手指消毒を徹底する
- 2 発熱や風邪等の症状がある者は、運営に参加しない

（大会運営時の対策）

- 1 施設が定める所定の様式にて、参加者に以下の情報の提出を求める
 - ・氏名、年齢、住所、連絡先
 - ・当日の体温（開催日前2週間における以下の事項の有無）
 - ・発熱の有無
 - ・咳、痰、のどの痛みなど風邪の症状の有無
 - ・味覚、嗅覚の異常の有無
 - ・倦怠感、体調の異変の有無
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性と判断された人との接触の有無
 - ・家族や身近な人で感染が疑われる人との接触の有無
 - ・2週間以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者や渡航者との濃厚接触の有無※上記事項のいずれかに該当したときは、参加を控えていただく
- 2 各会場にアルコール消毒剤を設置し、手指消毒をお願ひする
- 3 検温、体調確認を行い、発熱・咳・咽頭痛などの症状のある人は参加を控えていただく

- 4 マスクを持参しているか確認し、スポーツをしていない間は着用することを願います（予備マスクを念のため用意しておく）
- 5 会場内での大きな声での声援、会話は行わないことを願います
- 6 屋内で実施する種目については、換気の悪い密閉空間にならないよう十分な換気を行い、汗等は迅速にモップでふき取る等衛生管理に努める
- 7 健康測定会の会場、更衣室、トイレについても換気の悪い密閉空間にならないよう配慮し、必要に応じて入場制限を行う
- 8 その他、会場が定めるガイドライン等に沿って感染症対策にあたる
- 9 各事項がきちんと遵守されているか会場内を確認する

第18回スポーツ健康交流大会

運営要項

1 申込み

- (1) 申込みは「第18回スポーツ健康交流大会参加申込書」(別紙)で申込みこと。
- (2) 申込期限は令和4年8月16日(火)までとする(案内チラシでは所属所内の申込期限として8月15日(月)と記載)。

※選手の追加・変更は9月9日(金)まで認める。

- (3) チーム編成、定数等は「申込要領」にて別に定める。
- (4) 所属所単位でのチーム編成を原則とするが、チーム編成が困難な場合は、次の種目に限り個人単位での申し込みを受け付け、大会事務局でチーム編成を行う。

	種目
午前の種目	ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ドッジビー
午後の種目	満水リレー、ボール送り競争、MIXリレー、リレー

ただし、個人単位で申し込みがあった場合の費用弁償等については、次のとおりとする。

<交通費助成>

	所属所からの申込が個人申込のみの場合	所属所からチーム申込もある場合
南ブロック 北ブロックB区域	2,000円/1人	令和4年度スポーツ健康交流事業に係る費用弁償等の基準のとおり
北ブロックA区域	1,500円/1人	

<審判・運営費>

チームの構成人数で案分する。

<スポーツ健康交流大会総合得点要領の競技点>

チームの構成人数で案分する。

- (5) 会計年度任用職員等が特例会員として選手登録する場合は、スポーツ健康交流大会に限った特別分担金として1人あたり300円を納入すること。なお、特別分担金は当会の振込依頼票にて10月中に納入すること。

2 競技規則

競技規則は、別に定める。

3 組合せ

- (1) 組合せは大会事務局の抽選により決定する。
- (2) 組合せの決定後、棄権等によりチーム数が減少し、試合の興味が損なわれるおそれのある場合は、主催者の判断で対戦を組替えることができる。

4 表彰

概ね次の基準により表彰する。

ソフトボール、ソフトバレーボール、卓球、バドミントン、テニス、ドッジビー	各ゾーンの1位
グラウンドゴルフ、ミニ駅伝、満水リレー、ボール送り競争、MIXリレー、リレー、	全体の1位～3位

5 交通

- (1) 会場までの交通手段は、所属所・チームごとに確保すること。
- (2) 会場内の駐車場の案内・誘導を行うので、従うこと。

6 昼食の斡旋

希望する所属所に案内・斡旋する。

7 傷害事故の対策

- (1) 万一の傷害事故に備え、救護員（外部に委託）を配置する。
- (2) 傷害見舞金
 - ①登録者の大会中の事故については傷害見舞金の対象とする。
 - ②練習計画報告書により届け出のあった練習中の事故については、傷害見舞金の対象にする。

8 環境・ゴミ処理等の取り扱い

排出されたゴミは、参加者の責任で回収・持帰りとする。

9 役員の任務分担

実施委員の分担・配置は、大会会長が定める。

10 特別企画

特別企画として次の企画を実施する。

- ①ゲストの招待 ②抽選会の実施 ③キッチンカーの出店

11 その他

その他、必要な事項については、大会当日の代表者会議にて連絡する。

第18回スポーツ健康交流大会

競技規則

<午前の種目>

1 ソフトボール

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。
 - 2 チーム構成等
競技者は9人（性別は問わない）とし、1チームは20人以内とする。
 - 3 審判
主審は、専門家に委嘱するが、塁審3人、記録員1人は参加チームが担当する。
 - 4 試合方法
 - (1) 試合は、5回又は45分経過後は新しいイニングに入らない。同点の場合は、最終出場者9人ずつによる抽選で決する。
なお、後攻がリードした状態で後攻が攻撃中に45分を経過したときは、45分で試合を打ち切る。
 - (2) 塁間は18.29m、投球距離は14.02mとする。
 - (3) 試合球は、協会「ゴム製3号」とし、主催者が用意する。
 - (4) バット（ソフトボール用（公認金属バットを含む）、ヘルメット、キャッチャーマスク、レガース及びボディプロテクターは参加者が用意する。
 - (5) ダブルベースを使用する。
 - (6) リエントリー（再出場）は採用するが、DH制（指名打者制）は採用しない。
 - (7) ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とする。
 - 5 ユニフォーム
 - (1) 同一の色、形、意匠が望ましいが、強制はしない。
 - (2) 背番号は、1番～20番までとする。ただし、すでに番号がユニフォームに取付けられ、1番～20番までを使用しがたい場合は、着用されている番号の使用を認める。
 - (3) 選手全員が同一の色、形、意匠、所属所名の表示がされているユニフォームを着用している場合でも、背番号がついていないときには、背に縦15cm横20cm四方のゼッケンをつけること。
また、チーム名の表示が、所属所名を表していない場合は、別に所属所名を表示すること。
- | | |
|------|-----------|
| 15cm | 1
所属所名 |
| | 20cm |
- 6 チーム代表者は、各競技場本部の呼出しにいつでも応じることのできるよう選手を待機させておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために、試合開始時刻が早まることがあるので注意すること）。

7 棄権と没収試合

- (1) 前もってチーム代表者から選手9人がそろわない等の理由で棄権の申し出があった場合、相手チームを不戦勝とする。
 - (2) 次の場合は没収試合とし、過失のないチームを「7対0」で勝ちとする。
 - ア 試合招集コール時に正規の選手がそろわない場合。
 - イ オーダー表を提出しなかった場合、又は選手が9人未満となった場合。
 - ウ その他、ソフトボール協会の定めにもとづいて主審、大会本部、いずれかが宣告した場合。
 - (3) 登録外の者又はゼッケン表示の定めに反する者の出場は認めない。これらの選手を除き9人未満となった場合は、没収試合とする。ただし、審判又は大会本部が、ゼッケンの付替え・訂正などを短時間で行えると判断したものについては、この限りではない。
- 8 オーダー表は、試合前に主審に提出すること。
- 9 競技にあつて不正（暴力行為等）を行った場合、次のとおり処置する。
 - ア 試合中の場合は、相手チームを勝ちとする。
 - イ 試合終了後に発見された場合は、次の相手チームの勝ちとする。
 - ウ 入賞している場合は入賞を取消し、以下順位を繰り上げる。
- 10 この競技規則に触れていないことは、協会規則を参考に大会本部と審判長が定める。

2 ソフトバレーボール

1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。

2 チーム構成等

(1) 競技者は男女混合の4人とし、女性が常時2人以上出場しなければならない。なお、女性会員が5人以下、もしくは女性会員の比率が5%以下の所属所については、女性に代わり50歳以上の男性会員が出場することができる。

(2) 1チームは8人以内とする。

3 審判

参加チームによる相互審判とし、チームは主審1人、線審2人、スコアラー1人を担当する。

4 用具・コート

(1) ボールは日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用することとし、主催者が準備する。

(2) コートの広さは13.40m×6.10mとし、バドミントンのダブルス用コートの利用も可とする。ただし、その場合、センターラインを引き、エンドライン外にサービスゾーンを設ける。

(3) ラインテープの幅は4cmのものを使用し、コート内に含まれる。

(4) ネットの高さは200cmとする（バドミントン支柱の活用も可とする）。アンテナはネットの上端から100cm上方に出るよう左右1本ずつ支柱の外側に取り付ける。

5 試合方法

(1) 1セット15点のラリーポイント制で、3セットマッチ（2セット先取）とする。14対14となったときはデュースとして、2点差がつくまで行う。ただし、17点で打ち切り、17点を先取したチームを勝ちとする。

(2) タイムアウトは1セットにつき2回以内で、1回30秒とする。

(3) 選手の交替は、1セット4回以内とする。

(4) 試合開始前にチーム代表者のトスで勝者がサービス権又はコートのいずれかを選定し、コートの交替はセットごとに行う。最終セットは再度トスをし、いずれかのチームが8点先取した時点でコートの交替を行う。

(5) 選手のポジションとローテーション

① サービスが打たれた後は、特にコート内でのポジションの制限はない。

② レシーブするチームがサービス権を得た時、時計回りに一つずつ移動する。

(6) サービスは1回とする。ただし、サービストスしたボールがサーバーの体に触れなかった場合のみ、1回だけサービスをやり直すことができる。

(7) パスは3回以内とする。ただし、ブロックのワンタッチは除く。ブロック後のボールは、ブロック時に触れた者を含めて誰が触ってもよい。

(8) 相手方のサービスしたボールをネット上端より完全に高い位置からアタック・ヒットを完了したときは反則となる。

(9) ブロックの場合を除き、同じ選手が2度続けてボールに触れることはできない。

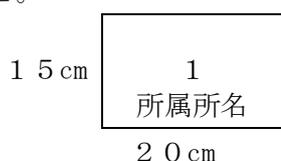
ただし、チームの1回目の打球のとき、ボールが身体の2カ所以上に連続して当たってもよい。ただし、その接触は、一つの動作中に限られる。

- (10) 同一チームの2人の競技者が同時にボールに触れたときは、一回触れたものとし、その後いずれの競技者がひきついでもよい。

6 ユニフォーム

- (1) 同一の色、形、意匠が望ましいが、強制はしない。
- (2) 背番号は、1番～8番までとする。ただし、すでに背番号がユニフォームに取付けられ、1番～8番までを使用し難い場合は、着用されている番号の使用を認める。
- (3) 選手全員が同一の色、形、意匠、所属所名の表示がされているユニフォームを着用している場合でも、背番号がついていないときには、背に縦15cm横20cm四方のゼッケンをつけること。

また、チーム名の表示が、所属所名を表していない場合は、別に所属所名を表示すること。



- 7 チーム代表者は、本部の呼出しにいつでも応じることのできるよう選手を待機させておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために試合開始時刻が早まることがあるので、注意すること）。

8 棄権と没収試合

- (1) 前もって、チーム代表者から選手4人がそろわない等の理由で棄権の申出があった場合、相手チームを不戦勝とする。
- (2) 次の場合は、没収試合とし、過失のないチームを「2対0」で勝ちとする。
- ア 試合招集コール時に正規の選手がそろわない場合。
 - イ 選手が4人未満となった場合。
 - ウ その他、バレーボール協会の定めにもとづいて大会本部が宣告した場合。
- (3) 登録外の者又はゼッケン表示の定めに対する者の出場は認めない。これらの選手を除き4人未満となった場合は、没収試合とする。ただし、大会本部が、ゼッケンの付替えや訂正を短時間で行なえと判断したときは、この限りではない。

- 9 競技にあって不正（暴力行為等）を行った場合、次のとおり処置する。

- ア 試合中の場合は、相手チームを勝ちとする。
- イ 試合終了後に発見された場合は、次の相手チームを勝ちとする。
- ウ 入賞している場合は入賞を取消し、以下順位を繰り上げる。

- 10 この競技規則に触れていないことは、協会規則を参考に大会本部と審判長が定める。

3 卓球

1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。

2 競技部門は、次のとおりとする。

シングルス

①男子の部

②女子の部

3 審判

参加者による相互審判とする。

4 試合方法

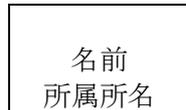
(1) 試合は、11点の5ゲームマッチ（3ゲーム先取）とする。10対10となったときはデュースとして、2点差がつくまで行う。

(2) サービスは2本交代とする。ただし、デュースのときは1本交代とする。

(3) 試合球は、直径40mm、重さ2.7gとし、主催者が準備する。

5 選手は、所属所名・名前を表示したゼッケンを背中につけること。

15 cm



20 cm

6 選手は、本部の呼び出しにいつでも応じることのできるよう待機しておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために試合開始時刻が早まることがあるので注意すること）。

7 棄権と没収試合

次の場合は没収試合とし、過失のないチームの不戦勝とする。

ア 選手から棄権の申し出があったとき。

イ 試合招集コール時に選手がいないとき。

ウ その他、大会本部が判断したとき。

8 競技において不正（暴力行為等）を行った場合は、次のとおり処置する。

ア 試合中の場合は、相手チームの勝ちとする。

イ 試合終了後に発覚した場合は、次の相手チームを勝ちとする。

ウ 入賞している場合は、入賞を取り消し、以下順位を繰り上げる。

9 この競技規則に触れていないことは、卓球連盟競技規則を参考に大会本部と審判長が定める。

4 バドミントン

1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。

2 競技部門は、次のとおりとする。

ダブルス

①男子の部

②女子の部

③混合の部

3 審判

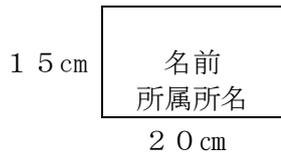
参加者による相互審判とする。

4 試合方法

(1) 試合は、21点の3ゲームマッチ（2ゲーム先取）とする。20対20となったときはデュースとして、2点差がつくまで行う。ただし、30点で打ち切り、30点を先取した方を勝ちとする。

(2) 試合球は、水鳥球とし主催者が準備する。

5 選手は、所属所名・名前を表示したゼッケンを背中につけること。



6 選手は、本部の呼び出しにいつでも応じることのできるよう待機しておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために試合開始時刻が早まることがあるので注意すること）。

7 棄権と没収試合

次の場合は没収試合とし、過失のないチームの不戦勝とする。

ア 選手から棄権の申し出があったとき。

イ 試合招集コール時に選手がいないとき。

ウ その他、大会本部が判断したとき。

8 競技において不正（暴力行為等）を行った場合は、次のとおり処置する。

ア 試合中の場合は、相手チームの勝ちとする。

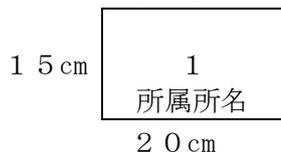
イ 試合終了後に発覚した場合は、次の相手チームを勝ちとする。

ウ 入賞している場合は、入賞を取り消し、以下順位を繰り上げる。

9 この競技規則に触れていないことは、日本バドミントン協会競技規則を参考に大会本部と審判長が定める。

5 グラウンドゴルフ

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。
- 2 チーム構成
競技者は4名とし、1チームは6人以内（性別は問わない）とする。
- 3 記録・判定
各ホールとも1打目はティーマークから4人が順次打ち、2打目以降はホールから自ボールが遠い競技者順に打つ。競技の記録・判定は、同伴の競技者相互に公平に行う。
- 4 用具・ホール数
 - (1) 用具は会場にて借り上げる用具、又は自前の用具を使用する。
 - (2) 2名1組で指定されたホール（指定されたホールがスタート位置となる）に入り、指示に従い設定されたホール数をプレーする。
 - (3) ホール数は、エントリーチーム数を勘案のうえ設定する。
- 5 練習
競技者はいかなる打球練習も行ってはならない。
- 6 試合方法
 - (1) 競技者4人の合計打数の少ないチームを上位とする。
なお、同点の場合は各競技者の記録を比べ、最少打数の競技者の多いチームを上位とする。さらに同点の場合は、次の少ない打数の競技者の多いチームを上位とする。
 - (2) 打ったボールが紛失したりコース外に出たときは1ペナルティとし、ボールを自分のコース（ボールが出た地点）に戻して打つ。
 - (3) 競技の妨げになる球は、一時的に取り除くことを要求することができる。取り除くのは、球の持ち主が行う。その際、ホールポストに対して球の後方にマークし、取り除かなければならない。
 - (4) 競技者の球が、同伴の競技者の球に当たった場合は、球の止まったところから競技を続け、同伴の競技者の球は元の位置にかえず。
 - (5) 打ったボールが1打目でホールポストに入ったとき（ホールインワン）は、合計打数からホールインワン1回につき3打差し引いて計算する。
 - (6) 競技者の交替は、一つのホール終了後行う。ただし、競技者にやむを得ない事故等があった場合は途中交替を認める。
- 7 競技者は、所属所名及び番号（1～4）を表示したゼッケンを胸につけ、運動靴又はゴルフシューズを着用すること。



- 8 エチケット
 - (1) 自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行くこと。
 - (2) 同伴の競技者が打つ前後は、話したり、ボールやポストのそばに立ったりしないこと。
 - (3) 足跡等は、必ず元の状態に自分で直すこと。

6 ミニサッカー

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。
- 2 チーム構成等
競技者は5人（性別は問わない）とし、1チームは10人以内とする。
- 3 審判
参加チームによる相互審判とし、チームは主審1人、記録員1人を担当する。
- 4 試合方法
 - (1) 試合時間は8分ハーフとし、ハーフタイムは3分とする。
 - (2) コートは20m×40mとし、ゴールは2m×3mとする。
 - (3) 試合球は、4号球（ローバウンド）とする。
 - (4) オフサイドは採用しない。
 - (5) ボールがタッチラインを割ったときは、キックインでプレーを再開する。
 - (6) 攻撃側の選手が最後にボールに触ってゴールラインを割ったときは、ゴールキーパーのスローでプレーを再開する。
 - (7) ペナルティエリア内でのファウルはPKとする。
 - (8) ピッチ内の5人とベンチの交代要員はいつでも入れ替わることができる。ただし、交代時には交代ゾーンでビブスを付け替えなければならない。
- 5 ユニフォーム
 - (1) 同一の色、形、意匠のユニフォーム又はビブスを着用すること。なお、ビブスは主催者が用意する。
 - (2) 競技者は、スパイク又はトレーニングシューズ及びレガースを着用すること。
- 6 チーム代表者は、各競技場本部の呼出しにいつでも応じることのできるよう選手を待機させておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために、試合開始時刻が早まることがあるので注意すること）。
- 7 棄権と没収試合
 - (1) 前もってチーム代表者から選手5人がそろわない等の理由で棄権の申し出があった場合、相手チームを不戦勝とする。
 - (2) 次の場合は没収試合とし、過失のないチームを「5対0」で勝ちとする。
 - ア 試合招集コール時に正規の選手がそろわない場合。
 - イ 選手が5人未満となった場合。
 - ウ その他、主審、大会本部、いずれかが没収試合と宣告した場合。
 - (3) 登録外の者の出場は認めない。これらの選手を除き5人未満となった場合は、没収試合とする。
- 8 競技にあつて不正（暴力行為等）を行なった場合、次のとおり処置する。
 - ア 試合中の場合は、相手チームを勝ちとする。
 - イ 試合終了後に発見された場合は、次の相手チームの勝ちとする。
 - ウ 入賞している場合は入賞を取消し、以下順位を繰り上げる。
- 9 この競技規則に触れていないことは、日本サッカー協会競技規則を参考に大会本部と審判長が定める。

7 ミニ駅伝

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）及び府民とする。
- 2 チーム構成等
競技者は4人（性別は問わない）とし、1チームは6人以内とする。
- 3 競技方法
 - （1）陸上競技場周回の特設コース（1周626m）を4人で18周する。
 - （2）各走者の周回数は次のとおりとする。
①3周 ②4周 ③5周 ④6周
 - （3）タスキリレーは決められたリレーゾーンで行なわなければならない
 - （4）タスキ、ゼッケンは主催者が用意する。
 - （5）その他詳細は、競技前に参加者に説明する。

8 テニス

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。
- 2 競技部門は、次のとおりとする。

ダブルス

- ①男子の部
- ②女子の部
- ③混合の部

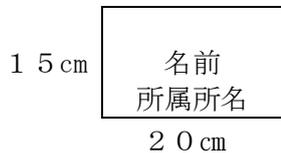
- 3 審判

参加者による相互審判とする。

- 4 試合方法

- (1) 試合は、1セットマッチ（6ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式）とする。
- (2) 試合球は、主催者が準備する。

- 5 選手は、所属所名・名前を表示したゼッケンを背中につけること。



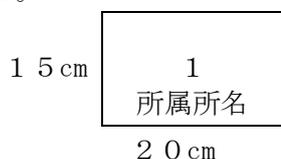
- 6 選手は、本部の呼び出しにいつでも応じることのできるよう待機しておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために試合開始時刻が早まることがあるので注意しておくこと）。
- 7 棄権と没収試合
次の場合は没収試合とし、過失のないチームの不戦勝とする。
ア 選手から棄権の申し出があったとき。
イ 試合招集コール時に選手がいないとき。
ウ その他、大会本部が判断したとき。
- 8 競技において不正（暴力行為等）を行った場合は、次のとおり処置する。
ア 試合中の場合は、相手チームの勝ちとする。
イ 試合終了後に発覚した場合は、次の相手チームを勝ちとする。
ウ 入賞している場合は、入賞を取り消し、以下順位を繰り上げる。
- 9 この競技規則に触れていないことは、日本テニス協会競技規則を参考に大会本部と審判長が定める。

9 ドッジビー

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）とする。
- 2 チーム構成等
 - (1) 競技者は男女混合の5人とし、女性が常時2人以上出場しなければならない。なお、女性会員が5人以下、もしくは女性会員の比率が5%以下の所属所については、女性に代わり50歳以上の男性会員が出場することができる。
 - (2) 1チームは10人以内とする。
- 3 審判
参加チームによる相互審判とし、チームは主審1人、記録員1人を担当する。
- 4 用具・コート
 - (1) 使用するディスクは「ドッジビー270」とし、主催者が準備する。
 - (2) コートの広さはバドミントンのダブルス用コートとし、センターラインを設ける。
コートの広さは13.40m×6.10m。
- 5 試合方法
 - (1) 1ゲームは2セット。1セットは4分間とし、ハーフタイムは2分とする。
 - (2) 4分経過前に相手チームの内野プレーヤーを全員アウトにすればそのセットは終了となる。
 - (3) セット終了時に残っている内野プレーヤーを数え、2セット合計で多いチームの勝ちとする。
 - (4) ゲーム開始時に、外野を1名以上配置する。
 - (5) 選手交代は、セット間の休憩時にのみ行うことができる。
 - (6) 内外野を問わず、ディスクをキャッチしたプレーヤーまたは、地面に落ちたディスクを拾得したプレーヤーがスローワーとなる。
※内野同士でディスクの受け渡しはできない。
 - (7) ディスクのスロー方法はバックハンドスローのみとする。
 - (8) ディスクを投げるときにラインを踏むまたは踏み越えた場合、相手チームにディスクを渡しプレーを再開する。
 - (9) ディスクをキャッチするときラインを踏むまたは踏み越えた場合、相手チームにディスクを渡しプレーを再開する。
 - (10) ライン上に止まったディスクの所有権は、最後に触れたプレーヤーの相手チームが得る。
 - (11) 空中にあるディスクはどの時点で触れてもキャッチしても構わない。その場合キャッチしたプレーヤーが所有権を得る。
 - (12) アウトになった内野プレーヤーは速やかに外野に移動する。
 - (13) 相手チームの内野プレーヤーをアウトにした外野プレーヤーは速やかに内野に移動する。ただし、外野プレーヤーが1人のときは内野に戻ることはできない。
- 6 ユニフォーム
 - (1) 同一の色、形、意匠が望ましいが、強制はしない。
 - (2) 背番号は、1番～10番までとする。ただし、すでに背番号がユニフォームに取付けられ、1番～10番までを使用し難い場合は、着用されている番号の使用を認める。

(3) 選手全員が同一の色、形、意匠、所属所名の表示がされているユニフォームを着用している場合でも、背番号がついていないときには、背に縦 15cm 横 20cm 四方のゼッケンをつけること。

また、チーム名の表示が、所属所名を表していない場合は、別に所属所名を表示すること。



7 チーム代表者は、各競技場本部の呼出しにいつでも応じることのできるよう選手を待機させておくこと（前の試合が棄権や没収試合のために、試合開始時刻が早まることがあるので注意すること）。

8 棄権と没収試合

(1) 前もってチーム代表者から選手 5 人がそろわない等の理由で棄権の申し出があった場合、相手チームを不戦勝とする。

(2) 次の場合は没収試合とし、過失のないチームを「5 対 0」で勝ちとする。

ア 試合招集コール時に正規の選手がそろわない場合。

イ 選手が 5 人未満となった場合。

ウ その他、主審、大会本部、いずれかが没収試合と宣告した場合。

(3) 登録外の者の出場は認めない。これらの選手を除き 5 人未満となった場合は、没収試合とする。

9 競技にあって不正（暴力行為等）を行なった場合、次のとおり処置する。

ア 試合中の場合は、相手チームを勝ちとする。

イ 試合終了後に発見された場合は、次の相手チームの勝ちとする。

ウ 入賞している場合は入賞を取消し、以下順位を繰り上げる。

10 この競技規則に触れていないことは、協会規則を参考に大会本部と審判長が定める。

<午後の種目>

1 満水リレー

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）及び府民とする。
- 2 1チームは4人以上8人以内（性別は問わない）とする。
- 3 競技方法
 - （1）選手は一列に並び、先頭の人がコップを持つ。
 - （2）スタートの合図で、前方のバケツからコップで水をすくい、さらに前方の一升瓶まで向う。
 - （3）一升瓶の前にいる妨害者とじゃんけんをし、勝てば一升瓶に水を移して引き返しリレーする。負ければコップの水を空っぽにして引き返しリレーする。
 - （4）制限時間は3分とし、一升瓶に入った水量の多さ、あるいは一升瓶を満水にした時間の速さを競う。
 - （5）その他詳細は、競技開始前に参加者に説明する。
- 4 ゼッケンは主催者が用意する。

2 ボール送り競争

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）及び府民とする。
- 2 1チームは6人（性別は問わない）とする。
- 3 競技方法
 - （1）6人が一列に並び、先頭の人がボールを持つ。
 - （2）スタートの合図で、頭の上から後ろへボールを送っていく。
 - （3）一番うしろの人がボールを受け取ればボールをもって前方のカラーコーンを周回し、列の先頭に戻り、頭の上から後ろへボールを送っていく。
 - （4）（3）を繰り返し、6人目の選手が帰ってくるまでのタイムを競う。
 - （5）その他詳細は、競技開始前に参加者に説明する。
- 4 ゼッケンは主催者が用意する。

3 MIXリレー

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）及び府民とする。
- 2 1チームは4人とする。
- 3 競技方法
 - (1) 各走者は次のとおりとする。
 - 第1走者：お玉にピンポン玉をのせて走る
 - 第2走者：2人でバレーボールをテニスラケットで挟んで走る
 - 第3走者：ゴールにむかう途中で、豆を器から器へ箸で移し替える
 - (2) 順位はタイムによって競う。
 - (3) コースはオープンとする。
 - (4) インコースからの無理な追い越しは禁止する。
 - (5) ラインの内側走行は失格とする。
 - (6) リレーゾーンを越えてのバトンタッチは失格とする。
 - (7) スパイクは禁止する。
 - (8) その他詳細は、競技前に参加者に説明する。
- 4 ゼッケンは主催者が用意する。

4 リレー

- 1 参加対象は、会員（特例会員含む）及び府民とする。
- 2 競技部門は次のとおりとする。
 - ①男子の部
 - ②混合の部
- 3 1チームは6人とする。
- 4 競技方法
 - (1) 各走者の距離は次のとおりとし、混合の部の第1・3走者は女性とする。
 - ①100m ②100m ③100m ④100m ⑤100m ⑥200m
 - (2) 順位はタイムによって競う。
 - (3) コースはオープンとする。
 - (4) インコースからの無理な追い越しは禁止する。
 - (5) ラインの内側走行は失格とする。
 - (6) リレーゾーンを越えてのバトンタッチは失格とする。
 - (7) スパイクは禁止する。
 - (8) その他詳細は、競技前に参加者に説明する。
- 5 ゼッケンは主催者が用意する。

第18回スポーツ健康交流大会 申込要領

	種目	部門・チーム編成	会場	定数	エントリー制限及び取扱規則
午前の種目	ソフトボール	1チーム9人(性別は問わない)	野球場(3面) 球技場(2面)	20チーム	(1) 午前の種目は複数に申込みできない。 (2) 2チーム以上申込み場合は、受付優先順位を指定して申込みこと。 (3) 定数を越えたときは1所属所1チームを優先し、抽選により出場チームを決める。
	ソフトバレーボール	1チーム4人(女性会員が常時2人以上出場)	丹波公園体育館(4面)	28チーム	
	卓球	①男子の部(シングルス) ②女子の部(シングルス)	丹波公園体育館(3面)	24組 (各部門12組)	
	バドミントン	①男子の部(ダブルス) ②女子の部(ダブルス) ③混合の部(ダブルス)	丹波公園体育館(3面)	30組 (各部門10組)	
	グラウンドゴルフ	1チーム4人(性別は問わない)	陸上競技場(3面)	32チーム	
	ミニサッカー	1チーム5人(性別は問わない)	補助競技場(4面)	20チーム	
	ミニ駅伝※	1チーム4人(性別は問わない)	陸上競技場	【会員】 制限なし 【府民】 5チーム	
	テニス	①男子の部(ダブルス) ②女子の部(ダブルス) ③混合の部(ダブルス)	テニスコート	24組 (各部門8組)	
	ドッジビー	1チーム5人(女性会員が常時2人以上出場)	グリーンランドみずほ 体育館(3面)	36チーム	
午後の種目	満水リレー※	1チーム4～8人 *性別は問わない	陸上競技場	会員:43チーム 府民:5チーム	午後の種目は複数に申込みできる。
	ボール送り競争※	1チーム6人 *性別は問わない		会員:43チーム 府民:5チーム	
	MIXリレー※	1チーム4人 *性別は問わない		会員:40チーム 府民:5チーム	
	リレー※	1チーム6人 ①男子の部 ②混合の部 *混合の部の1、3走者は女性に限る		会員:22チーム 府民:5チーム	
体験教室	ホルディックウォーキング※	—	クロスカントリーコース	40人(府民参加含む)	午前の種目と重複して申込みできない。

※印は府民参加種目

スポーツ健康交流大会総合得点要領

1 総合得点の算出

総合得点は、次の（１）（２）（３）により所属所ごとに算出する。

（１）競技点

競技点は、対戦チーム数により次のとおりとする。

順位 対戦チーム数	第1位	第2位	第3位
10チーム以上	100	80	60
5～9チーム	80	60	40
3～4チーム	60	40	—
2チーム	40	—	—

（２）加算点

4月現在の会員数が100人未満の所属所には、（１）で得た競技点の半分を加算する。

（３）参加点

（１）及び（２）で得た得点に所属所の参加点（実参加者数（会員）÷4月現在の会員数×100）を加算する。

*小数点以下は四捨五入する

2 総合表彰

総合得点の上位3チーム及びとび賞（5位ごと）を表彰する。

第18回スポーツ健康交流大会 府民参加種目取扱要項

1 種目

府民参加種目は、次のとおりとする。

- ①ミニ駅伝 ②満水リレー ③ボール送り競争 ④MIXリレー ⑤リレー
⑥ノルディックウォーキング ⑦健康測定会

2 申込み

参加申込は、種目により次のとおりとし、参加対象は小学生以上とする。

(1) 健康測定会以外の種目

- ①厚生会事務局までメール (jigy@kyoto-koseikai.or.jp) またはFAX (075-411-0085) で申し込むこと。
②申込期限は、令和4年8月16日(火) 17時とする。
③定数は次のとおりとする。また、定数を超えた場合は抽選を行う。

種目	定数
ノルディックウォーキング	40人(厚生会会員を含む)
ノルディックウォーキング以外	各種目5チーム

- ④参加費は無料とする。

(2) 健康測定会

事前の参加申込は要らない(当日随時参加できる)。

3 競技規則等

競技規則は別に定める。

4 傷害事故

大会中の事故については、厚生会の傷害見舞金の対象とする。